


文化スポーツ観光部

令和6年度 重点目標

- 1 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備
- 2 サントミュージゼを拠点とした文化創造都市実現に向けての「育成・市民協働・鑑賞」事業の推進
- 3 上田の魅力発信による誘客促進と選ばれる都市を目指すシティプロモーションの推進
- 4 日本遺産、文化芸術を生かした魅力ある都市づくりの推進

令和6年度 重点目標管理シート






重点目標	生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備			部局名	文化スポーツ観光部	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第5編 教育 第2章 新しい時代を拓く生涯学習環境の整備 第2節 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備			上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け		教育・子育ての環境・文化の充実を促進する	
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		スポーツ施設整備を進めるにあたり、公共施設マネジメント基本方針と整合を図る。					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルが変化し、健康づくりへの関心が高まる中、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、誰もがいつまでも気軽にスポーツに親しめるまちづくりを進めていく必要があります。 ・多様なスポーツ・レクリエーションや競技スポーツ振興を図るため、「上田市スポーツ施設整備計画」に基づき、計画的な施設整備を進める必要があります。 ・高地トレーニング・スポーツ合宿の適地として、菅平高原を内外に積極的にPRし、ブランド力を強化させるとともに、各種大会などを誘致することにより、交流人口を増加させることが重要です。 ・上田市から世界の舞台や国内の大規模大会等で活躍する選手が育つことを視野に入れ、優れた競技者を発掘し、応援する体制づくりが重要です。 						
目的・効果	「第二次上田市スポーツ推進計画」に基づき、体力向上や健康づくりの機会を拡大するとともにスポーツ環境の整備を促進し、生涯スポーツ社会の実現を目指します。			該当するSDGsの目標			
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度) 及び (中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
○ 国民スポーツ大会を見据えた環境づくり (1) 準備組織の設立 (2) 大会開催に向けた機運の醸成 (3) 競技力の向上		令和6年度中	<ol style="list-style-type: none"> 準備委員会の設立・方針等策定 イベント等の開催【1回】 <ul style="list-style-type: none"> ・（一財）上田市スポーツ協会を通じた選手、指導者の強化体制への支援【随時】 ・ 全国大会等出場奨励金の交付【60件】 				
② ○ 上田市スポーツ施設整備計画に基づく施設整備 (1) 上田古戦場公園テニスコート整備事業の推進 (2) 市民の森公園再整備に向けた検討 (3) 城跡公園、各地域体育館の整備に向けた検討		令和6年度中	<ol style="list-style-type: none"> テニスコート工事(2期)の完成、テニスコート工事(3期)の着手 サウンディング型市場調査の実施、先進事例の研究 整備場所、整備手法等の検討 				
③ ○ 生涯スポーツの振興、スポーツを通じた地域づくりと交流拡大 (1) だれもがスポーツに親しむ機会の充実 (2) トップアスリートとふれあう機会の充実 (3) 総合型地域スポーツクラブの活動促進 (4) トレーニングキャンプ・合宿等の誘致・支援		令和6年度中	<ol style="list-style-type: none"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種スポーツ大会等【20回】 ・ 教室【30教室】 ・ 「あすチャレ!」【7校】 ・ パラスキー選手との交流【1校】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「夢の教室」【6校】 ・ プリリアントアリスとの連携事業【随時】 ・ 連携事業【12回】 <ul style="list-style-type: none"> ・ キャンプ実施チーム等への支援 ・ ラグビー等を通じた市民交流の開催【随時】 				
特記事項	○ 市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○ 取組による効果・残された課題			

令和6年度 重点目標管理シート

重点目標	サントミュージゼを拠点とした文化創造都市実現に向けての「育成・市民協働・鑑賞」事業の推進			部局名	文化スポーツ観光部	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第6編 文化・交流・連携 第1章 多彩な文化芸術の継承と創造 第2節 育成を基本理念とした文化芸術活動への支援と文化創造			上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	2 教育・子育て環境・文化の充実を促進する ・上田城復元的整備、日本遺産活用、サントミュージゼ活用		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共施設マネジメントの推進 オ 受益と負担のあり方の見直し					
現況・課題	「文化の薫る創造都市うえだ」の拠点施設として、サントミュージゼには「育成」を基本理念の根底に据え、文化芸術のもつ多面的な効果を通じて、ひと・まち・文化を育む事業展開が期待されてきました。複合施設として多様で質の高い芸術に対応できる空間を用意し、市民がさまざまな芸術文化と触れあえる機会を提供するとともに、市民自らが、さまざまな形で発表できる場を提供することが求められています。						
目的・効果	サントミュージゼを文化創造の拠点施設と位置付け、上田市の有する地域文化や歴史的、文化的遺産等の資源を活かし、地域の将来を担う子どもたちの育成を目指します。 また、文化芸術のもつ力や多面的な効果を活かし、人が集まることでの交流人口の増加やまちに賑わいと活気をもたらすことでの、観光や商業、地場産業など地域経済への波及効果も期待し、心豊かな都市創造の拠点とします。			該当するSDGsの目標			
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度) 及び (中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○ 文化創造都市としての「創造育成」事業の推進 (1) 小学校や地域の公民館等へアーティストが出向き、ワークショップ、コンサートを開催する「芸術家ふれあい事業」の実施 (2) 「子どもアトリエ事業」の実施、及び、一般市民向け講座の実施（高校生以上） (3) 第2回新進演奏家リサイタルの実施	(1) 4～3月 (2) 4～3月 (3) 8月、2月	(1) 市内小学校24校、9地域（公民館等）で実施 (2) 子どもアトリエ体験プログラム及び市民向け講座を50回実施 (3) 8月に最優秀賞リサイタル、2月に優秀賞・特別賞ジョイント・リサイタルを実施				
②	○ 市民とともに歩む「市民協働」事業の推進 (1) 市民参加型事業の充実 (2) 市民団体と協働した企画展覧会の実施	(1) 8～12月 (2) 4～12月	(1) 市民及び高校生との演劇・ダンス・音楽3公演、演劇・ダンスのワークショップ13回 (2) 東信美術展の開催(6/22-6/30)				
③	○ 開館10周年を記念し、魅力ある「鑑賞」事業の開催 (1) 質が高く魅力ある公演、展覧会の実施 (2) 市民から要望の多い公演、展覧会の実施 (3) 身近に親しめる公演、展覧会の実施 (4) 地元メディアや興行主との共催や、各種団体と連携した公演、展覧会の実施	(1) 4～3月 (2) 4～3月 (3) 4～3月 (4) 4～3月	(1)～(4) ・市民要望に応えた自主事業43公演、共催事業4公演 ・美術館展覧会9回開催				
④	○ 健全運営に資する事業経費の確保 (1) 国、県等の助成金等自主財源の獲得 (2) サントミュージゼパートナーズ(上田市交流文化芸術センター賛助会員制度)による寄附の受け入れの推進	(1) 4～3月 (2) 4～3月	(1) 国、県、財団法人等の助成金等自主財源の獲得 (2) パートナーズ等寄附金の獲得企業等との事業での関係構築				
⑤	○ 次期運営管理計画策定に向けた調査の実施 (1) 第3期(R8年度～R12年度)運営管理計画策定に向けた事業・運営検証のための調査を実施	(1) 4～3月	(1) 事業・運営検証に基づく調査報告書を作成				
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

<p>重点目標</p>	<p>上田の魅力発信による誘客促進と選ばれる都市を目指すシティプロモーションの推進</p>			<p>部局名</p>	<p>文化スポーツ観光部</p>	<p>優先順位</p>	<p>3位</p>	
<p>総合計画における位置付け</p>	<p>第3編 産業・経済 誰もがいきいき働き 産業が育つまちづくり 第3章 魅力ある観光地づくり 第1節 おもてなしで迎える観光の振興 第6編 文化・交流・連携 第2章 交流・連携、移住・定住促進による活力ある都市づくり 第1節 上田市の魅力発信、選ばれる都市づくり</p>			<p>上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け</p>	<p>5 DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる</p>			
<p>第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け</p>		<p>(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり ウ 市民への説明責任を果たす確かつ積極的な情報発信 エ 広域連携の推進</p>						
<p>現況・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが「5類」になって以降、観光需要が大きく回復しています。 インバウンド需要も全国的にはコロナ前の水準まで回復しており、軽井沢町などに訪れる外国人観光客を上田市へ取り込むための対策強化や、海外における当市の認知度向上を図る必要があります。 観光振興の牽引役である「一般社団法人信州上田観光協会」と連携した事業推進が重要となっています。 少子高齢化及び人口減少などの社会構造状況の変化や、働き方、生活様式が多様化する中、上田市が多くのことから「選ばれる都市」となるためには、当市の多様な魅力を市内外に戦略的、効果的に発信していく必要があります。 これからの持続可能なまちづくりを考える上では、定住人口促進へのアプローチだけでなく市外からのまちに抱く誇りや愛着「シビックプライド」でつながる人（関係人口）を増やす戦略が重要となります。 上田市の卓越性を活かし、「暮らしやすさ」「シビックプライド」をアピールするため、行政だけでなく、民間企業や市民団体等も含め総合的なシティプロモーションを展開し、生活情報・観光情報・産業情報に加え、医療や教育、子育て環境などの情報を、発信媒体の特性に応じてタイムリーに発信していく事が重要になっています。 							
<p>目的・効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国内外からの誘客促進に向けた施策展開により、市内観光需要の増加に繋がります。 観光は関連分野が多岐にわたる裾野の広い産業であることから、誘客促進による地域経済の活性化を目指します。 行政と民間の役割を明確化する中で、官民連携で「稼げる観光地づくり」を推進します。 上田市の持つ「人・食・文化・産業・情報」など多様な魅力を市内外へ発信し、シビックプライドの醸成を図りながら、多くのことから「来たい、住みたい、住み続けたい都市」として選ばれることで、まちの賑わいを創出し、持続的発展が可能な都市の実現を目指します。 上田市の魅力を高め地域を活性化するために、市内の居住者はもちろんのこと、外にいても継続的かつ多様な形で関わる「関係人口」へアプローチを行い、更なるまちづくりへの参画を増やすプロモーションを推進していきます。 			<p>該当するSDGsの目標</p>				
<p>取組項目及び方法・手段（何をどのように）</p>		<p>期間・期限 （いつ・いつまでに）</p>	<p>数値目標（どの水準まで）</p>	<p>中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）</p>		<p>期末報告（目標に対する達成状況・達成度）</p>		
<p>①</p>	<p>○ 観光資源の活用推進 (1) 歴史的・文化的資源を活用した観光振興 (2) 官民連携による誘客イベントの開催 (3) 観光施設の利活用に向けた検討</p>	<p>4月～3月</p>	<p>(1) 日本遺産等を活用した事業を実施：1回 (2) 誘客イベントを開催：4回 (3) 「塩田の館」貸付に向け再度プロポーザルを実施</p>					
<p>②</p>	<p>○ 広域連携事業の推進 (1) 北陸新幹線沿線自治体等との広域連携による誘客促進 (2) 真田街道推進機構等、関係自治体及び各種団体と連携した誘客促進 (3) 上田松本バスの活用による誘客促進</p>	<p>4月～3月</p>	<p>(1) 誘客イベント、キャンペーン等を開催：2回 (2) 誘客イベント、キャンペーン等を開催：2回 (3) 上田松本バス利用者：4,300人</p>					
<p>③</p>	<p>○ インバウンドの促進 (1) (一社)信州上田観光協会と連携したインバウンド施策の推進 (2) 訪日外国人旅行者の受入態勢強化の検討</p>	<p>4月～3月</p>	<p>(1) 海外OTAを活用した情報発信、タイで開催の旅行博へ出展 (2) 観光事業者との検討会議：2回</p>					
<p>④</p>	<p>○ 「稼げる観光地づくり」の推進 (1) ワークーションの推進 (2) (一社)信州上田観光協会と連携した観光消費額の増加に向けた施策の展開</p>	<p>4月～3月</p>	<p>(1) 体験型コンテンツ開発支援：5件 (2) 体験型旅行商品造成支援：2件 季節に応じたキャンペーンを実施：2回</p>					
<p>⑤</p>	<p>○ 関係人口、移住・交流人口の増加を目指すシティプロモーションの展開 (1) 関係人口や移住・交流人口の創出に視点を置いた首都圏等への情報発信 (2) 総合的、戦略的にプロモーションを推進するための指針の見直し (3) 上田ファンづくり事業の推進</p>	<p>4月～3月</p>	<p>(1) 首都圏向けテレビ番組放送による情報発信：8回 (2) 推進指針検討会議：2回 (3) ファンイベントを開催：2回 ファンサイトを開設</p>					
<p>⑥</p>	<p>○ 地域の魅力を高め、地域の活性化やシビックプライドの醸成を図る取組 (1) 上田市の多様な魅力を全庁で共有し、連携して情報発信するための庁内会議の開催 (2) 専用Webサイトやラジオ等による情報発信と市民力を活用したインナープロモーションの推進</p>	<p>4月～3月</p>	<p>(1) 庁内連携会議：2回 (2) ラジオ番組放送：月2回 作成記事のwebサイト配信：週1回</p>					
<p>特記事項</p>	<p>○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点</p>			<p>○取組による効果・残された課題</p>				

令和6年度 重点目標管理シート

重点目標	日本遺産、文化芸術を生かした魅力ある都市づくりの推進		部局名	文化スポーツ観光部	優先順位	4位		
総合計画における位置付け	第6編 第1章 第1節 文化遺産の継承と活用 第2節 育成を理念とした文化芸術活動への支援と文化創造		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け		2 教育・子育て環境・文化の充実を促進する ・上田城復元的整備、日本遺産活用、サントミュージゼ活用			
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 ア 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立							
現況・課題	○「第二次上田市文化芸術振興に関する基本構想」を総合的に展開していく必要があります。市民団体等と連携しながら、文化芸術活動を支える団体や次世代を担う人材を育成し、文化活動の輪を広げていくことが重要である。 ○令和2年6月19日に文化庁から認定された レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」龍と生きるまち～信州上田・塩田平～ をテーマとする日本遺産を活用した人材育成、普及啓発、情報発信等の事業を総合的に展開していく。							
目的・効果	○市民による文化芸術活動を充実させ、地域に根差した文化活動や新たな文化創造を支援することにより、「人」、「文化」、「まち」が育まれる魅力あるまちづくりを目指す。 ○上田市日本遺産推進協議会を中心に、日本遺産を活用した各種事業を通じて、観光振興及び地域の活性化を目指す。	該当するSDGsの目標						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
①	○ 上田市日本遺産推進協議会との連携・協働による日本遺産活用事業の推進 (1) 普及啓発事業の実施 ・ 日本遺産検定、出前講座等の実施により、上田市日本遺産についての普及啓発を図る。 (2) 情報発信事業の実施 ・ オリジナルロゴマーク活用 ・ PRブース出展 ・ 映像コンテンツの制作・活用 ・ インターネット広告等を活用した情報発信 ・ オリジナル短編小説の活用 (3) 受入環境整備事業の実施 ・ リモート&AIコンシェルジュの活用 ・ 公式ウェブサイトの活用 (4) 人材育成事業の実施 ・ 有償ガイドの活躍機会の創出 (5) ふるさと寄附金による財源確保	(1) 通年 (2) 通年 (3) 通年 (4) 通年 (5) 通年	(1) 普及啓発事業の実施 ・ スタンプラリー、日本遺産検定等の実施 ・ 日本遺産活用支援補助制度の構築 (2) 情報発信事業の実施 ・ オリジナルロゴマーク新規申請件数(10件) ・ 日本遺産フェスティバル等においてPRを行う ・ VR動画の制作・活用 ・ インターネット広告等を活用し誘客を図る ・ 令和5年度に作成したオリジナル短編小説を活用し、日本遺産の魅力発信を図る。 (3) 受入環境整備事業の実施 ・ リモート&AIコンシェルジュ利用件数(前年比2%増) ・ 情報の集約とハブ化の推進 (4) 人材育成事業の実施 ・ 有償ガイドの活用 (5) ふるさと寄附金(日本遺産応援コース) 300件					
②	○ 市民や文化団体との連携・協働による文化事業の推進と人材育成の充実 (1) 文化団体連携事業の開催 ・ 上田城跡能・うえだ城下町映画祭 ・ シリーズ文化講演会など (2) 子ども文化講座、子ども文化祭の開催 (3) 小中学校への芸術家派遣事業 (4) 上田市文化支援事業補助制度の活用	(1) 上田城跡能(8月) 城下町映画祭(11月) 文化講演会(3月) (2) 7月 2月 (3) 9・10月 (4) 随時	(1) 市民協働による文化事業の推進 ・ 上田城跡能(8月) ・ うえだ城下町映画祭(11月) ・ シリーズ文化講演会(2・3月) (2) 子ども文化講座(7月) 子ども文化祭(2月) (3) 芸術家学校派遣事業(3校)を実施 (4) 市民団体が主催する文化事業の支援					
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題				